

EXPO 2025

流鏑馬・笠懸

安全祈願奉納

2025年
日本国際博覧会

4月5日[土] 6日[日]
10:00~17:00 ※小雨決行

場 所 大阪 夢洲(ゆめしま)西ゲート
EXPOアリーナ「Matsuri」

実 施 内 容 流鏑馬、笠懸、
流鏑馬や鎌倉に関わる文化展示体験

<観 覧> 流鏑馬
笠懸

<体 験> 大鎧騎射
射手との交流会
馬へのエサやり
鎌倉彫
神戸市立六甲山牧場の流鏑馬
和式馬具弓具、大鎧

※入場可能者数に限りがあるため、満員の場合はご容赦ください。

主 催 公益社団法人日本弓馬会

YouTube
配信

4/5 第1回



YouTube

4/5 第2回



YouTube

4/6 第3回



YouTube

4/6 第4回



YouTube



2025年

大日本弓馬会 行事紹介

富士御室浅間神社流鏝馬神事 (甲斐の勝山やぶさめ祭り)

実施日 4月29日(火・祝)

場所 富士御室浅間神社、シッコゴ公園
(山梨県富士河口湖町)

主催 甲斐の勝山やぶさめ祭り実行委員会

平安時代から独自の流鏝馬が継承されていたが、明治期に断絶。これを大日本弓馬会が昭和53(1978)年に再興し、現在に至る。

馬場は河口湖畔の芝地に設置され、全長約160mで的2つと距離は短いが、急カーブと坂を駆け上がり、直角に曲がる馬場末が難しい。



三浦道寸祭り笠懸

実施日 5月18日(日)

場所 荒井浜海岸(油壺)
(神奈川県三浦市三崎町小網代)

主催 道寸祭り実行委員会

会場は鎌倉期から室町期にかけて三浦半島で栄えた三浦一族の最後の当主三浦義同の終焉の地であり、同一族の供養祭と併催される。

笠懸は左右下方の的も狙う実践的な騎射で難易度が高く、日本でもほとんど行われていない。馬場は崖下にある油壺湾の砂浜に設けられ、全長約150mでの2つと短い、全体が弓なりとなっていて、その難易度を更に高めている。



三嶋大社流鏝馬神事

実施日 8月17日(日)

場所 三嶋大社
(静岡県三島市)

文治元(1185)年に源頼朝が奉納して以来、流鏝馬が奉納されてきたが、明治4(1871)年に断絶。これを昭和59(1984)年に大日本弓馬会が再興し、現在に至る。

馬場は二の的と三の的の距離が短く、矢番えが難しい。馬場末(宝物館前)で馬が直角に曲がって停止する場面は迫力あり。三嶋大社は神職が射手を務めるなど流鏝馬の保存に力を入れている。



寒川神社流鏝馬神事

実施日 9月19日(金)

場所 寒川神社
(神奈川県寒川町)

鎌倉時代より「馬太夫」と呼ばれる家筋の者が代々流鏝馬を継承してきたが、一時的に中断していたところ、昭和41(1966)年に大日本弓馬会が再興し、現在に至る。

馬場は的3つながら距離が短く、非常に難易度が高い。寒川神社は神職が射手を務め、流鏝馬用の馬2頭を保有し、稽古場も整備するなど、流鏝馬の保存に力を入れている。



上賀茂神社笠懸神事

実施日 10月19日(日)

場所 上賀茂神社
(京都府京都市)

建保2(1214)年に後鳥羽上皇が笠懸を催した故事に基づき、平成17(2005)年に再興され、現在に至る。「賀茂競馬」が伝わる馬の神事と縁の深い神社であり、笠懸を神事として奉納している唯一の事例である。

馬場は境内西側の芝地で、往復しながら的を射る。往路(南→北)では左側の的3つを、復路(北→南)では左右下方に設置した的2つを射る。スピードが出る馬場で、馬場末までの距離が短く馬を止めるのが難しい。



明治神宮流鏝馬神事

実施日 11月3日(月・祝)

場所 明治神宮
(東京都渋谷区)

昭和7(1932)年に奉納して以来、戦中戦後に一時中断するも、昭和28(1953)年に再開され、現在に至る。

境内西芝地に設けられる馬場は、深い森と松に囲まれた美しい景観が特徴。森の中から騎馬が飛び出し、また森の中に走り去って行く様は必見。馬場の長さは約218mと故実どおりで、スピードが出るため、難易度は高い。



JAPAN CULTURAL EXPO 2025



YouTube



公益社団法人 大日本弓馬会
The Japan Equestrian Archery Association



HP

公益社団法人 大日本弓馬会
神奈川県鎌倉市御成町20-43
post-kyuubakai@yabusame.or.jp